

令和7年度 京都市立東山泉小中学校 学校経営方針

学校教育目標

社会や人との関わりの中で真の逞しさを身につけた児童生徒の育成

目指す児童生徒像

＜ファーストステージ＞あたたかく思いやりのある児童・ねばり強くあきらめない児童
＜セカンドステージ＞人を慮りながら理想の実現を追求し続ける児童生徒

子どもにつけたい資質能力

東山泉の子につけたい資質・能力

- ① **向学**: 各教科等で身につけた知識及び技能を、日常の様々な場面において応用できる
【実際の社会で生きて働く知識及び技能】
- ② **才知**: 課題解決に向けて情報を収集・分析したり、周囲の人と協働したりしながら、自らの考えを表現できる
【未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力】
- ③ **立志**: 自らの生き方を考えながら、夢や目標に向かってねばり強く取り組むことができる
【学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力】

目指す学校像

校歌の歌詞を実現

- ① 地域を誇れる学校「♪大いなる歴史を思う はるかなる未来を思う♪」
- ② 児童生徒が誇れる学校「♪希望を胸に灯して 美しい夢をいま創りゆく♪」
- ③ 保護者、教職員がわが子を通わせたいと思う学校「♪ここに集う仲間たち とともに学ぼう♪」

目指す教職員像

東山泉の教職員としての資質・能力

- ① 学校教育目標の実現のために、カリキュラムマネジメントを理解し、チーム（組織）の一員として仲良くてできる教職員
- ② 一人ひとりの児童生徒を慈しみ、学ぶ喜びと向上心を与えられる教職員
- ③ 目指す児童生徒像の実現のために、絶えず研鑽しながら、自身のワークライフバランスを考え、自己変革できる教職員

学校経営方針

- ① 開校12年目を迎えるにあたり、本校児童生徒に求める資質能力（向学・才知・立志）の指針をさらに明確にし、その一層の伸長と発展を図る。
- ② ユニバーサルデザインを基本に、支援の必要な生徒に寄り添い、向き合うことで理解を深める。
- ③ 施設併用型5.4制義務教育学校、及びコミュニティスクールの強みを生かし、その意義を見出す。